

特殊なプラスチックで産業界を支える

かぶしがいいしゃ

株式会社 アイワ

〒482-0032 岩倉市井上町種畑 20

TEL: 0587-37-8300

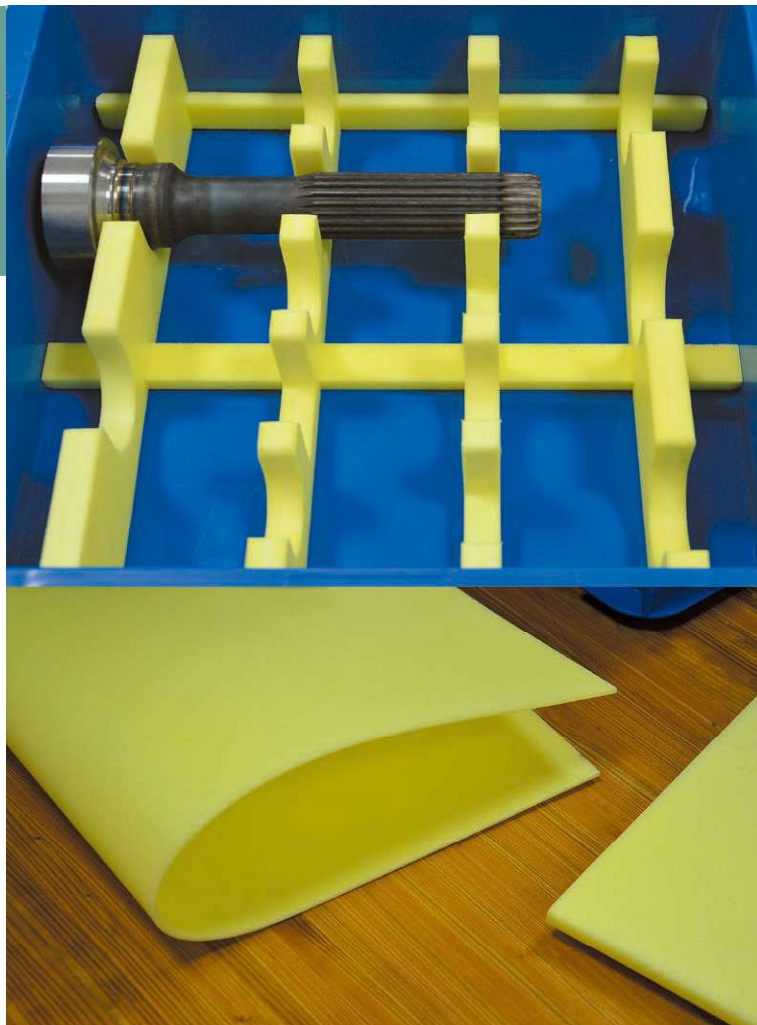
<https://www.aiwacorporation.com>

■会社概要

1977(昭和52)年に一宮市で創業したプラスチック製品を作っている会社です。岩倉市には1984(昭和59)年に移転しました。

「可能性の追求」を企業理念に掲げ、創業から継続的に新たな商品開発・改良に果敢に挑戦しています。1996(平成8)年には科学技術庁長官「注目発明選定証」を受賞、2006(平成18)年には「愛知ブランド企業」に認定されています。

同じような業種の会社が海外に進出する中、国内生産にこだわりを持って製造している会社です。



「木のようなプラスチック」や「酸・アルカリ・有機溶剤にも溶けないプラスチック」など特殊なプラスチックをつくっている会社が岩倉市にあります。

木のようなプラスチック!?

その名も「デュラウッド」と言います。プラスチックを2倍に発泡させたもので、通常のプラスチックより軽く、簡単に加工できるのが特徴です。例えば、のこぎりで切ったり、くぎを打ったり、ネジくぎでの接合も可能です。木のような特性を合わせ持つていて堅く、強いので「合成木材」とも言われていますが、二つ折りにしても割れない柔軟性をもち、耐水性があり腐らないなど木材がもつ欠点をクリアした素材です。

私たちの身近にある発泡スチロールはプラスチックを20〜50倍に発泡させたもので高発泡プラスチックと言いますが、それに対してこのデュラウッドは低発泡プラスチックと呼ばれています。

デュラウッドと車やアイスクリームの関係

デュラウッドは、自動車部品を工場から工場へと搬送するときの通函(かよいばこ)に、部品に傷がつかないよう保護するための緩衝材として活用されています。

通常、自動車のモデルチェンジは6年毎に行われるのですが、その間は同じ部品を製造・運搬しますので通函の緩衝材も耐久性があることが望ましく、この製

品はその要望に十分応えています。

また、結露しないという特徴をいかして、アイスクリームや魚などを運ぶ冷凍車や冷凍倉庫内の壁の緩衝材に利用されていたり、住宅のフローリングの下部の吸音・断熱材の固定にも使われています。

常に研究と顧客からのニーズを把握しながら改良を続け、デュラウッドで47年間も販売を続けています。普段目にする車や食べている食品の運搬に欠かせない製品です。

アイフロンとAIやおにぎりとの関係

もう一つ特徴的な製品として「アイフロン成形品」があります。この素材は酸・アルカリやシンナーなどの有機溶剤に強く、300℃の高温にも耐えます。スマートフォン、AI家電など、身の回りの多くの電化製品には半導体が使われていますが、このような半導体の製造工場の機械に使われています。また、食品業界向けのおにぎり加工用の「型」にも使われていますのでお昼に購入したおにぎりはこの型を使って作られているかもしれません。

会社を訪れた際、(株)アイワの玄関では、名前入りのウェルカムボードが招き入れてくれました。

創業当時から挑戦と改善を続けている(株)アイワ。来訪者への心配りにもその精神があらわれていました。近く創業50周年を迎えるアイワの挑戦はまだ続きます。